



2026

# 学校だより 本荘 Smile

令和7年度 第51号  
令和8年3月16日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

## 土曜授業でなわとび大会をしました！午後からはPTAレクリエーション大会でボッチャもしましたよ。



2月7日、土曜授業を行いました。体育館での「なわとび大会」は本校恒例の行事。この日のために、こどもたちは一生懸命練習を重ねてきました。

特に驚かされたのは1年生です。始めたばかりの頃は「ちゃんと回せるかな……」と校長先生が心配したほどでしたが、今、3月現在は、二重とびを10回以上したり、「ハヤブサ（二重あやとび）」に挑戦したりすることもいるほど成長しました。

一方、長なわでは、最初はどの学年もおっかなびっくり。連続でとぶ練習からのスタートでした。和やかで平和なこどもが多い「本荘っ子あるある」ではありますが、ふと、冬季オリンピックで「やったるでー！」とチームを引っ張るために力強く声を上げたフィギュアスケートの坂本花織選手の姿が思い浮かびました。「あれくらいの意気込みがあればいいなあ」と心の中で笑ってしまう校長先生でしたが、こどもたちの努力は本物です。

1月、2月の本荘っ子たちは、朝からまず持久走を3周走り、その後に学年ごとの長なわ練習。



この一生懸命な姿は、さすが本荘のこどもたちです。当日は多くの保護者の皆様に見守られ、みんなにとってすばらしい一日になりました。

午後からは、PTA主催の「ボッチャ大会」がありました。これがまた、大いに盛り上がったのです！当日参加できなかったご家庭のために、ボッチャの魅力を少しご紹介します。

「ボッチャ」はイタリア語で「ボール」を意味する、ヨーロッパで生まれたパラリンピックの正式種目です。イメージは「地上のカーリング」。白いジャックボールに向かって赤・青のボールを投げ、どれだけ近づけられるかを競います。

面白いポイントは3つ。一つ目は「だれでも一緒に楽しめる」こと。年齢や体格に関係なく同じルールで真剣勝負ができます。二つ目は「一発逆転のドラマがある」こと。的となる白いボール自体も動くため、最後の1球で状況がガラッと変わるドキドキ感があります。最後に「チームの絆が深まる」ことです。「次はどこを狙う？」「相手のボールを弾こう！」と作戦を練ることで、自然と会話が弾み、チームワークがよくなるのです。

（裏面に続きます）

実際の試合では、こどもたち同士が、初めて触るボールの感触に驚きながらも、狙い通りに近づくと歓声が上がっていました。

さらに、力任せではなく、優しく転がす繊細なコントロールにみんな夢中になっていました。そのおかげで、1年生と6年生で真剣勝負がで

きていたのです。

PTAレクリエーションとしては初めての競技でしたが、みんなで大盛り上がりをしました。楽しい行事の連続で「みんな笑顔の本荘小」になった土曜授業の日でした。(校長)

校長先生の虫眼鏡「ポッチャ大会の様子です。楽しかった！」  
前述のポッチャ大会の様子です。なかなか盛り上がりまして、PTA役員さん方も大喜びでした。

